

令和6年度施策及び事業案の概要

I	令和6年度当初予算（案）の概要	1
II	令和6年度当初予算（案）総括表	2
III	令和6年度主要事業説明資料	
①	広島病院	3
②	安芸津病院	4

病院事業局

課 名	県立病院課
担当者	ひらなか 平中
電 話	082-513-(3235)

I 令和6年度当初予算（案）の概要

当初予算のポイント

1 基本的な考え方

今後の医療需要の増大・高度化を見据えた社会保障制度改革等の環境変化に適切に対応していくとともに、厳しい医療環境の下でも、県立病院としての役割を果たしていくため、医療機能や経営基盤の強化に取り組む。

2 予算概要

(1) 予算規模

○病院事業会計	350億円	(対前年度比：+7.8%、+25.2億円)
広島病院	323億円	(構成比：92.3%)
安芸津病院	27億円	(構成比：7.7%)

※病院事業会計の総額は、企業会計（収益的支出、資本的支出）の合計

○一般会計	25億円	(対前年度比：+3.7%、+0.9億円)
-------	------	----------------------

(2) 病院事業会計の収支見込

引き続き、医療機能の強化を図るとともに、入院収益の増加などにより、経常収支の黒字を確保する。

○経常収支	1.5億円	(対前年度比：△5.0%、△0.1億円)
-------	-------	----------------------

3 主要事業

第7次広島県病院事業経営計画に基づき、重点的取組を実施（詳細については、広島病院⇒P3、安芸津病院⇒P4）

○広島病院

- ①がん医療を含めた高度医療の強化
- ②高度医療・人材育成拠点整備事業

○安芸津病院

- ①災害対策の強化
- ②地域との連携
- ③医療の質と患者満足度の向上

課 名	県立病院課
担当者	ひらなか 平中
電 話	082-513-(3235)

Ⅱ 令和6年度当初予算（案）総括表

（1）病院事業会計

（単位：千円、％）

区 分	令和5年度 当初予算額 ①	令和6年度 当初予算額 ②	比 較		備 考	
			②-①	②/①		
病院事業収益 a	29,551,786	30,385,344	833,558	102.8		
内 訳	医業収益 b	25,831,946	28,204,538	2,372,592	109.2	
	うち入院収益	17,646,351	18,997,164	1,350,813	107.7	患者数の増
	うち外来収益	7,453,943	8,480,694	1,026,751	113.8	診療単価の増
	医業外収益 c	3,689,840	2,150,806	△1,539,034	58.3	コロナ関係補助金の減
	特別利益 d	30,000	30,000	0	100.0	
病院事業費用 e	29,417,466	30,263,649	846,183	102.9		
内 訳	医業費用 f	28,954,746	29,779,541	824,795	102.8	給与費+612,250
	医業外費用 g	411,596	428,058	16,462	104.0	負担金+57,306
	特別損失 h	51,124	56,050	4,926	109.6	
医業収支 (b-f)	△3,122,800	△1,575,003	1,547,797	50.4		
医業外収支 (c-g)	3,278,244	1,722,748	△1,555,496	52.6		
経常収支 (b+c)-(f+g)	155,444	147,745	△7,699	95.0		
収支差 (a-e)	134,320	121,695	△12,625	90.6		

資 本 的 収 支	資本的収入 i	1,699,807	3,309,207	1,609,400	194.7	企業債+1,574,400
	資本的支出 j	3,028,318	4,701,824	1,673,506	155.3	
	うち建設改良費	1,069,205	2,648,106	1,578,901	247.7	資産購入費+1,329,676 建設工事費+249,225
収支差 (i-j)	△1,328,511	△1,392,617	△64,106	104.8		

支出予算額計 (e+j)	32,445,784	34,965,473	2,519,689	107.8	広 島: 32,292,447 安 芸 津: 2,673,026
---------------------	-------------------	-------------------	------------------	--------------	-------------------------------------

（2）一般会計

（単位：千円、％）

区 分	令和5年度 当初予算額 ①	令和6年度 当初予算額 ②	比 較		備 考
			②-①	②/①	
衛 生 費	2,394,798	2,484,181	89,383	103.7	
病院事業会計への 繰出金	2,394,798	2,484,181	89,383	103.7	

Ⅲ 令和6年度主要事業

課名	県立病院課
担当者	ひらなか 平中
電話	082-513-(3235)

① 広島病院の重点的取組

広島病院は、地域の医療機関との連携の下、患者や地域に選ばれる高度急性期機能の役割を強化していくとともに、公立病院が担うべき救急医療などの基幹的役割を引き続き発揮する。

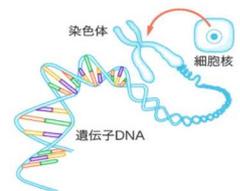
1 がん医療を含めた高度医療の強化

➤ 脳心臓血管センターの機能強化

- ・ X線撮影装置と手術台を同室へ入れ、低侵襲のカテーテル治療と開腹・開胸の手術の双方が1室で実施可能な「ハイブリッド手術室」を新規設置（R6 完成予定）
- ・ 撮影装置に付属する画像解析機能などを用いることで、出血量の減少や手術時間の短縮など、患者の負担軽減が可能
- ・ 心臓弁膜症の治療において、機能が低下した大動脈弁を人工弁に置き換える「経カテーテル的弁置換術（TAVI）」が可能となり、手術リスクの高い高齢者や他の病気を有する患者の治療の選択肢が拡大

➤ がん遺伝子診療機能の強化

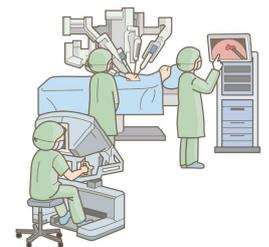
- ・ ゲノム診療科の設置によるがんゲノム医療提供体制の強化（R4～）
- ・ 専門家が集まり遺伝子解析結果を検討する委員会（エキスパートパネル）を開催できる等の基準を満たした「がんゲノム医療拠点病院」の指定（R5.3）を受け、遺伝子情報に関する検査を単独で実施（R5.7～）



- | | |
|-------------|-----------------------------|
| ◆ 遺伝カウンセリング | R4： 71件、R5見込： 76件（※健康保険対象分） |
| ◆ がんゲノム検査 | R4： 189件、R5見込： 190件 |

➤ 医療機器の更なる活用による高度医療の強化

- ・ 令和3年度に導入した手術支援ロボットの対象手術の拡大による手術の高度化や安全性の向上
- ・ 令和4年度に更新した高精度放射線治療システム（リニアック）について、照射対象内の放射線に強弱をつけ、腫瘍に対して集中的に照射できる「強度変調放射線治療（IMRT）」を開始（R5.5～）し、正常組織への照射量を減少させることで、患者の負担を軽減



2 高度医療・人材育成拠点整備事業

➤ 新病院の設計及びシステムの構築

- ・ 基本計画を踏まえた、新病院の基本設計・地盤調査・埋蔵文化財試掘に係る準備
- ・ 地方独立行政法人の設立に向けた、事務系システムの構築及び県の福利厚生システムに係る改修費用を負担

課 名	県立病院課
担当者	ひらなか 平中
電 話	082-513-(3235)

② 安芸津病院の重点的取組

安芸津病院は、高齢化や人口減少の進展により、医療需要の縮小が見込まれる安芸津地区における唯一の入院機能や急性期から回復期、あるいはかかりつけまでの総合的な機能を有する強みを活かし、地域医療と一体となった予防医療を含めた地域包括ケアシステムの質の向上に積極的に貢献する。

※安芸津地区・・・安芸津病院の診療圏（旧安芸津町、竹原市、大崎上島町、旧安浦町）

1 災害対策の強化

➤ 施設の耐震化対応に向けた検討

- ・新型コロナウイルス感染症の流行による患者数を踏まえ、耐震化対応に係る方向性について検討
- ・耐震化対応の具体化に係る基本構想・基本計画を策定

2 地域との連携

➤ 介護施設等との連携強化

- ・地域の介護施設等との連携強化を図ることで、地域包括ケアシステムの質の向上に貢献
- ・認定看護師による他病院や介護施設等への感染症予防対策や認知症対策等の講習を実施し、地域の医療・介護機能を向上

◆訪問看護実施数 R4：1,610 枠、R5 見込：1,820 枠

➤ 地域包括ケア病床（急性期後のリハビリ、在宅復帰に向けた支援）の拡充

長期入院ニーズに対応し、平成 29 年度に 21 床から 29 床に 8 床増床、令和 6 年度以降、更なる増床を予定

◆地域包括ケア病床稼働率 R4：74.5%※、R5 見込：78.7%
（※新型コロナウイルス感染症患者の受入期間中、地域包括ケア病床を閉鎖）

3 医療の質と患者満足度の向上

➤ MRI の新規導入

オープンMRI を新規導入し、検査・診断の充実を図るとともに、患者受入態勢を強化（R6 完成予定）

